



第3章

基本的な視点と考え方

視点1 子どもが地域の一員として健やかに成長するまち

【取組の方向性】

子ども一人ひとりの個性が尊重され、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう様々な取組を推進するとともに、地域が一体となって取り組むことで、地域とのふれあいや交流の中で、多摩区をふるさととして地域や社会に愛着を持ちながら成長できる環境づくりを推進します。

(1) 生活習慣を通した子どもの健康づくり

子どもの生活リズムや食事等、子どもの生活習慣について保護者の関心は高く、子どもの健やかな成長のためには、子どもだけではなく家族の規則正しい生活習慣を通した健康づくりに取り組むことが必要です。

(2) 遊びやスポーツを通した健やかな発育の促進

子どもの健やかな成長のために、遊びや自然体験、スポーツ等を通した体力の向上を図る環境づくりを進めていく必要があります。

子どもの遊びや体験の重要性への地域理解を深めるとともに、親子が一緒に楽しく身体を動かし、子どもの健康や健やかな発達に向け、成長に応じた取組が重要です。

(3) 学びや社会体験による子どもの心の成長と居場所づくり

子どもたちが地域の様々な場を通して心の成長を育むとともに、地域に伝わる文化を学び、体験やふれあいにより地域への愛着を育むことが大切です。そのためにも、子どもたちが、地域に成長を見守られている、居場所があるという安心感等を深める取組が重要です。

視点2 誰もが安心して楽しく子育てができるまち

取組の方向性

地域における多様な人材や資源を活用し、子育てにかかわる様々な組織・機関、区民みんなで子育てを支え、保護者が孤立することなく、地域で楽しみながら子育てができる環境づくりを進めます。

また、障害のある子どもや、虐待等によりケアを必要とする子ども等、家庭や子どもの特性に合わせた継続的な地域における支援を充実します。

(1) 孤立することなく、楽しみながら子育てができる地域づくり

地域の実情を踏まえ、子どもの成長にとってより良い環境づくりのために、地域で親同士が話せる場や、子育てについて相談ができる場など、心配や不安、悩みを軽減し、孤立感を感じることなく楽しみながらゆとりをもって子育てができる環境の充実が必要です。

(2) 子育ての当事者である父親の育児参加の促進

子育てが孤立したものにならないよう、父親の育児への参加意欲を高め、さらに仕事と生活の調和を図り、男女共同の子育てを促進していくための取組が重要です。

(3) 家事育児サポートによる子育て支援の充実

保護者の生活スタイルが多様化している中で、ニーズや課題もまた多様化しています。在宅で子育てをしている家庭も含めたすべての子育て家庭を支援するため、きめ細かく対応した多様な子育てサポートの充実を促進していきます。

(4) 子育ての不安や悩みを気軽に相談できる仕組みづくり

保護者への支援は、子どもの健やかな成長のためにも重要です。保護者の孤立を防ぎ、子育ての悩みや保護者自身の悩みを抱え込むことがないように、身近で気軽に相談できる仕組みや体制づくりが重要です。

(5) 子ども・子育て情報提供の充実及び工夫

子育てを取り巻く環境の変化に伴い、子育て家庭の抱える課題やニーズは多様化していることから、保護者のニーズや課題に合わせて、誰もが必要な時に、必要とする情報を簡単に入手できるよう、情報提供の方法や内容について工夫していきます。

(6) 特別な配慮が必要な子育て家庭に対する地域理解と子育て支援の充実

特別な配慮が必要な子どもや保護者が安心して地域で生活するため、地域で理解を深め、子育てを見守っていくための取組を支援するとともに、特別な配慮が必要な子どもや保護者について、状況やニーズに応じて様々に工夫をしながら取り組んでいくことが必要であり、そのためには支援サービスの提供にあたって公的機関はもちろん各種団体との連携が必要となっています。

視点3 子育てを通じて多世代がつながるまち

取組の方向性

子育てにかかわる様々な組織・機関と区民のみんなが力強いきずなをつくり、子育てを通して地域に参加する人々のつながりを支援しながら、地域ぐるみで子育てに取り組めます。

(1) 地域が一体となった子育て支援のためのネットワークづくり

地域の様々な子育て支援団体や地域団体、行政等の関係機関などがネットワークを推進し、地域での子育て支援を一緒に考える雰囲気づくりが必要です。

子育て家庭に対する多様できめ細かい対応のために、子育ての知識や技術、人材、施設などの福祉・教育資源を有効に活用し、様々な主体が連携・協力しながら、地域が一体となった取組が重要です。

(2) 子育て活動支援・人材育成及びシニア世代の活躍の場づくり

多摩区では、子育て支援団体・グループの活動が積極的に行われている中、活動の継続について困難を抱える声も多くあります。団体・活動のアピールや人材育成、実施手法等のノウハウの提供やコーディネート等、地域の子育て支援団体等が活動しやすい環境づくりを支援していく必要があります。

あわせて、地域のシニア世代の子育て活動への参加と活躍の場の推進により、人材育成の機会とするとともに、地域全体の活性化や、当事者以外の人々のかかわりが増えることによる地域が一体となつての子育て支援が重要です。

(3) 区民自ら子ども・子育ての課題を解決しようとする取組の推進

多摩区では、子育て支援団体・グループや NPO の活動が積極的に行われており、協働でのまちづくり活動や区の子ども子育てにかかわる課題に対して、市民が事業を企画し提案する取組も活発に行われています。市民が自ら課題に取り組み、地域に発信していく活動をさらに推進していく必要があります。

(4) 子育て家庭の声を反映させた子育てしやすいまちづくり

子育て中の区民の「子育てしやすいまちづくり」への関心の高まりから、子どもや子育て家庭の声を積極的に取り入れていくための市民参加・参画の仕組づくりが必要であるとともに、事業を行うときは、様々な場面で当事者である子どもや保護者の視線を大切にすることが重要です。